



佛蘭西政令下帙卷之三



114  
A2790  
8



佛蘭西政令下帙卷之三

第五篇

道路及路線修正

總論

道路ノ稱ハ水陸ノ通路ヲ含ム然レモ格段ノ義  
ヲ以テハ唯陸路ノミヲ云フ水路ハ既ニ海川ノ  
部ニ於テ説キタレハ茲ニ陸路ノミヲ説ク可シ  
道路ハ大道小道トニツニ分ツ此區別又往時ノ  
區別ト當今ノ區別ト異ナル所アリ往時ハ大道  
ノ内ニハ官道通路及ヒ市中ノ道路ノ新開改正

大正十一年四月  
隈侯爵邸寄贈

及ヒ營繕ヲ含メリ小道ノ名ヲ以テハ制禁刑罰  
ヲ以テ都テノ道路ヲ保護スルノ方法ヲ云ヘリ  
近年ハ大道小道ノ區別ハ道路ノ大小及ヒ其當  
リタル用ニ從テ區別ス尤巴里ノ道路ハ舊法ニ  
從フ

大道ノ中ニ含ム所ノモノハ諸官道ナリ即チ国  
街道州街道官道ノ路線ニ連ル市中ノ道路国ニ  
テ作リタル或ハ會社ニ委託シタル鉄道及ヒ巴  
里ノ諸道路ナリ

小道ノ中ニ含ム所ノモノハ諸市ノ内部ノ道路

巴里ノ道路及ヒ其他ノ官道ノ路  
線ニ連ル所ノ諸市ノ道路ヲ除ク及ヒ外部ノ道  
路即チ鄙郷道路ナリ

大道小道ト區別スルハ種々ノ道路ノ新開及ヒ  
營繕路傍ノ人家ニ命スル義務路線ノ修正爭論  
ノ適不適及刑罰ニ付キテ利益アリ

道路ノ修正ニ付キテハ別段ニ章ヲ設ケ説ク可  
シ

### 大道

茲ニ左ノ三件ニ拘ハル諸規則ヲ説ク可シ  
第一大道ニ属スル道路ノ新開及ヒ營繕ニ拘ハ

ル規則

第二諸義務ニ拘ハル規則尤修正ノ義務ヲ除ク  
第三聽訟ニ拘ハル規則

大道ノ新開及ヒ營繕

國街道及ヒ州街道

千八百十一年十二月十六日ノ制誥ハ此件ノ原  
則ニシテ國街道ヲ三級ニ區別セリ

第一級巴里ヨリ外國及ヒ海防ニ拘ハル大港ニ  
通スル官道

第二級巴里ヨリ國境或ハ諸港ニ通シ道幅ノ一

級ニ稍劣リタル官道

第三級巴里ヨリ國內ノ都會ニ通シ或大都會ヲ  
交通スル為メノ官道

制誥中ニハ官道ノ三級ノ定メヲ載セスト雖モ  
之ニ付シタル表ニ從ヘハ三級ノ配當ハ其官道  
ノ方向ニ從テ區別シテ可ナリ

州街道ハ州ノ首府ヨリ郡ニ通シ或ハ兩州相通  
スル官道ヲ含蓄ス

千八百十一年ノ制誥以來州街道ヲ二種ニ區別  
ス

第一千八百十一年以前ハ国街道ノ第三級ニ加  
ハリ其保繕ハ州ノ任タル官道

第二州ノ費ヲ以テ設立シタル官道

此ノ如ク二種ニ分テ利益トスル所ハ其設ケテ  
ル土地ニ付キテ違ヒ有レハナリ国街道ヨリ州  
街道ニ変レタル官道ノ地面ハ国ニ属ス州ノ財  
ヲ以テ設立シタル官道ノ地面ハ州ニ属ス依テ  
常道ノ下級スル時ハ地面ノ国ニ属スルモノハ  
国ノ私有地トナリ州ニ属スルモノハ州ノ私有  
地トナリナリ

國街道ト州街道ノ區別

第一國街道ハ國ノ公有品ニ属シ諸費皆國ノ任  
ナリ州街道ハ州ノ公有品ニ属シ諸費皆州ノ任  
ナリ尤舊國街道ノ地面ハ国ニ属スルヲ知ル可  
シ

第二國街道ノ登級及ヒ下級ハ帝ノ制誥ヲ以テ  
命ス州街道ニ拘ハリテハ州會ニ付キテ出セル  
千八百六十六年ノ法律以前ハ国街道ノ如ク帝  
ノ制誥ヲ以テ命セリト雖モ此法律以後ハ二ツ  
ニ區別スルヲ左ノ如シ

若シ路線他州ニ及ハサル時ハ其登級及ヒ下級  
ヲ州會ニ於テ命ス尤路ノ方向及ヒ登級ノ為メ  
ニハ帝ノ制誥ヲ以テ其命ヲ停止スルノ権アリ  
若シ路線他州ニ及フ時ハ其登級及ヒ下級ヲ從  
前ノ如ク州會ニ於テ評定シタル上ニテ帝ノ制  
誥ヲ以テ命ス

官道ノ下級シタル部分ハ千八百四十二年五月  
二十四日ノ法律ニ從ヒ州會或ハ郡會ノ請求或  
ハ承諾ヲ以テ州街道或ハ鄙郷道路ノ級ニ加フ  
可ク又ハ下級ノ部分ヲ讓與スルノ権アル官署

ニ托シ得可シ然レモ道ノ自然ニ下級シタル時  
ハ官署ノ権利ヲ壓制スルモノニツアリ  
第一路傍ノ所有地ノ景況ニヨリ幅五メートル  
ヲ越ヘサル便路ヲ州知事評議所ニ於テ作ル州  
知事ノ命令書ヲ以テ設ク可シ  
第二路傍ノ所有主ハ千八百四十一年五月三日  
ノ法律中ニ載セタル各條ニ從ヒ己レノ所有地  
ノ前ニアル土地ノ部分ヲ他人ニ先立チテ買取  
ルノ権アリ

所有主ノ此権ヲ行ハサル時ハ其土地ハ競賣カ

或ハ交易ヲ為ス可シ

### 鉄道

鉄道ノ工業ハ國議院ニ於テ作ル帝ノ制誥ヲ以テ許可スルヲ要ス千八百四十一年五月三日ノ法律ノ頃二萬メートル以下ノ旁支ノ鉄道ハ制誥ヲ以テ許可シ他ノ鉄道ハ法律ヲ以テ許可セリ千八百五十二年十二月廿五日ノセナスコト以來國議院ニ於テ作ル帝ノ制誥ヲ以テ許可スル制誥ハ公用買上ノ時ニ説キタル如ク公用ナルヲヲ布令シ工業ヲ許可スルヲ載ス

然レモ資本ヲ國ヨリ借ルヲアレハ法律ヲ以テスルヲ要ス

鉄道ハ國ニテ建築スルヲアリ又財ヲ國ヨリ借り或ハ借ラステテ寄托ヲ受タル會社ニ於テスル事アリ通例建築ハ國ヨリ會社ニ寄托スル事多シ

鉄道ノ辨用モ亦寄托シタル會社ニ托スル事多シ

鉄道ノ寄托及其辨用ハ會社ニ許ス可シト雖モ會社ハ道ノ所有主タルヲ得ス實ニ鉄道取締リ

ニ付キテ出シタル千八百四十五年七月十五日  
ノ法律ヲ以テ國ニテ建築シ或ハ寄托シタル鉄  
道ハ大道ノ部分トナリ公有タル事ヲ布令シタ  
リ而シテ會社ハ已レノ擅有ニ非サル物ノ為メ  
ニハ稅ヲ拂フナシ

倚托ヲ受ケタル會社ニ單ニ許ス所ノ權ハ收納  
抵當ノ權ヲ受ケ得可キノ權ナリ尤財主ハ國ヨ  
リ寄托ヲ賣リ渡ス以前ニ鐵道ノ辨用ヲ妨ケ得  
可ラス故ニ收納抵當ノ權アル債主ハ政府ヨリ  
寄托ヲ賣リ渡スキニ他人ニ先立テテ得ルノ權

アルノミニニシテ所有品ヲ取上ルノ權モ道ヲ賣  
ラシムルノ權モ皆得可ラス

鐵道建築ニ付テハ會社ハ公業ノ起本人ナリ其  
辨用ニ付テハ道路ノ辨用ノ請負人ナリ會社ハ  
褒賞ノ名義ヲ以テ稅則及ヒ約定書ニ定メアル  
小條ニ從ヒ定限ノ間往來稅ヲ受ルノ權ヲ有ス  
ルナリ

會社ハ地稅職業稅及ヒ車室ノ座代ノ十分一ノ  
稅ヲ納ム

通例九十九年間ト定メアル寄托ノ定限満期ノ



上鉄道国ニ復歸シタルハ国ニテ自ラ辨用ス  
ルモ亦更ニ寄托スルモ国ノ随意ナリ  
千八百六十五年七月十二日地方ノ鉄道ニ付キ  
出セル法律ヲ以テ此鉄道ハ關係アル所有主ノ  
助力ヲ受ケ或ハ受ケスレテ州或ハ里ニテ設立  
シ得可ク又州或ハ里ノ助力ヲ受ケ或ハ受ケス  
レテ寄托ヲ受ケタルモノニテ設立スルコトモ亦  
得可シ  
地方利益ノ鉄道ノ方向及ヒ作り方ハ其辨用ヲ  
保護スル為メニ必要ナル取極メ及ヒ條約ノ如

ク州會ニテ決定ス

国議院ニ於テ作ル帝ノ制誥ハ公用ナルコトヲ布  
令シテ業ヲ起スヲ許可スルナリ

州知事ハ起ホノ草案ヲ認定シ税則ヲ確定ス

地方利益ノ鉄道ヲ設立スルニ資本ヲ国ニ仰ク  
ヲ許ス

国ニ資本ヲ仰キ設立シタル鉄道ハ国ノ為ニハ  
無償ニテ用ヲ辨スルコトアリ又座代ノ減スルコ  
トアリ

地方利益ノ鉄道ハ鉄道取締ニ付キ出シタル千

八百四十五年七月十五日ノ法則ノ个條ニ從テ  
ヲ要ス尤左ニ記ス處ノ制外ナル事アリ  
州知事ハ鉄道ノ全道或ハ其部分ニ堀ヲ作ラ  
サルトテ許シ得可ク又道ノ交錯スル所ニ欄  
ヲ立テサルヲ許シ得可シ

### 巴里ノ市街道

巴里ノ市中ノ道路ハ大道ニ屬ス其他ノ市中ニ  
於テハ市街ノ道路ハ大道ニ屬セス唯路線ノ官  
道ニ連リタルモノ、ニ大道ニ屬ス  
巴里ノ市中ノ道路ノニ別異ニスルハ法律及ヒ

規則ヲ以テ定メ千八百五十二年三月廿六日ノ  
制誥ヲ以テ愈確定セリ如何トナレハ此制誥ヲ  
以テ巴里ノ市中ノ道路ハ大道ノ規則ニ從ヘル  
ヲ判然記載シタルハナリ然リト雖モ巴里ノ中  
ニ於テハ大道ト小道トヲ左ノ如ク區別スルヲ  
要ス

第八年総月十二日ノ決定書及ヒ千八百八年十  
月廿七日ノ制誥ニ從ヒ大道ノ中ニハ建築及ヒ  
其彫刻ノ飾リ樓臺ノ椽及額石ノ如キ家ノ外面  
ニ自体ノ突出シタルモノヲ含ム

小道ハ腰掛張出シ招牌ノ如キ家屋ノ外面ニ他  
品ヲ附ケ加ヘテ突出シタルモノヲ含ム  
大道小道ヲ區別シテ利益甚多シ

第一千八百五十九年十月十日ノ制誥以前ハ大  
道ニ属スル事件ノ許可ハセーン州知事ニテ為  
シ小道ニ属スル事件ハ警部長官ニテ許可セリ  
然レモ此制誥以來ハセーン州知事ニテ両十カ  
ヲ許可スルトナレリ

第二大道ノ違戾ハ州知事評議所ニ適ス小道ノ  
違戾ハ警視裁判所ニ適ス

第三大道違戾ノ罰ハ舊來ノ規則ヲ以テ規定ア  
リ小道ノ違戾ノ罰ハ刑法ヲ以テ定メアリ昂キ  
刑法中百七十九條第十一款ニ罰金十一フラン  
クヨリ十五フランク迄ヲ命スルナリ

適不適及ヒ罰ノ此違ヲ大道事件ノ聴訟事務ヲ  
説ク時ニ至リ再ヒ見ル可シ其他ハ大道事件ニ  
付キテ州知事評議所ノ適スル事ヲ説キタル章  
ヲ見ル可シ

### 大道ノ義務

大道及鉄道ニ拘ハル義務ヲ茲ニ説ク可シ

大道ニ拘ハル義務

大道路旁ノ住民ハ多分舊來ノ規則或ハ王ノ評議所ノ決定書ヲ以テ定メタル義務ヲ受ク即チ左ノ如シ

第一溝ヲ浚ヒタル土ヲ弃ル事

但溝浚ハ千八百二十五年以來官署ノ任ナリ

第二道路ヨリ流レ來ル水ヲ受ル事

但千七百五十四年及ヒ千七百八十一年ノ規則ニ載ス

第三營繕ノ時土地ヲ假ニ領ビシメ又物品ノ損

害ヲ受ル事尤州知事評議所ニテ定メル償金ヲ給ス

但シ千七百五十五年九月七日ノ王ノ評議所ノ決定書及ヒ千八百七年九月十六日ノ法則五十六个條ヲ以テ定ム

第四車道ヲ合セテ六十尺間ノ地ニ植付ケタル樹木ヲ伐除ク事

但シ千六百六十九年ノ命令書ヲ以テ定ム  
第五並木ノ植付ケ及ヒ路線修正ニ拘ハル規則ヲ守ル事

此ニツノ義務ハ大切ナル義務ナルカ故ニ猶  
精細ニ説ク可シ就中路線修正ノ義務ハ別章  
ヲ設ケ説ク可シ

並木ノ植付

千七百二十年五月三日ノ王ノ評議所ノ制誥中  
ニ載セタル規則ニ從ヒ第十三年風月九日ノ法  
律ヲ以テ路旁ノ住民ヲシテ官道ノ部内ニ木ヲ  
植ルノ義務ヲ受ケンメタリ木ノ所有ノ権ハ路  
旁ノ住民ニ屬スト雖モ官署ノ許可ヲ得スシテ  
伐木ス可ラス

平人ハ已レノ土地ニ道路ヨリ六メートル以下  
ヲ隔テ木ヲ植ント欲スル時ハ路線修正ノ規則  
ニ從フヲ要ス然レモ植付タル木ハ許可ヲ待タズ  
シテ隨意ニ為スヲ得可シ

千八百十一年十二月十六日ノ制誥中ニ並木ヲ  
植ルノ義務ヲ載セタリト雖モ其植付ハ路旁ノ  
住民ノ自己ノ地内ニ為シ木ノ性質ニ從ヒ溝ノ  
外縁ヨリ少クモ一メートルヲ隔ツルヲ要シ木  
ノ所有ノ権ハ住人ニ歸シ伐木ハ官署ノ許可ヲ  
要セリ

千八百二十五年五月十二日ノ法則ヲ以テモ前  
ノ个條ヲ載セタリ然レモ此法則ハ前ノ法則ヨ  
リ生レタル不便ヲ止ムル為メニ左ノ件ヲ載セ  
タリ  
第一道路ノ地面ニ植ヘタル樹木ハ住民ノ代金  
ヲ拂ヒ買受ケタルノ確証アルカ又ハ已レノ費  
ヲ以テ植付ケタルノ確証アレハ其住民ノ所有  
タリ所有ノ分明ナラサル時ハ国或ハ州ニ歸ス  
可シ

第二道路ノ地内ニ植付タル樹木ノ所有ノ権ニ  
拘リタル爭論ハ通常ノ裁判所ニ適ス此个條ハ  
原則ヨリ来ルモノナリ如何トナレハ所有ノ権  
ノ裁判ハ民事裁判所ニ適スルハ原則ナレハ十  
リ  
此法則ニモ伐木ハ官署ノ許可ヲ要スト載セタ  
リ  
並木植付ニ付テ畧説スル左ノ如シ  
第一路旁ノ住民ハ溝ノ外縁ヨリ一メートルノ  
距離ヲ隔テ已レノ領地ニ木ヲ植付其伐木ハ官  
署ノ許可ヲ要ス

第二路旁ノ住民ハ己レノ領地内ニ道路ヨリ六  
メートル以内ニ木ヲ植ルニハ路線修正ノ規則  
ニ従フヲ要ス

鉄道ニ拘ハル義務

鉄道取締ニ付テ出シタル千八百四十五年七月  
十五日法則ヲ以テ官署或ハ寄托ヲ受ケタルモ  
ノニ道ノ両旁ニ塀ヲ立テ道ノ交錯スル所ニ欄  
ヲ立ツルノ義務ヲ命セリ  
地方ノ利益ノ鉄道ノ為メニハ既ニ説キタル如  
ク此義務ヲ州知事ニテ免スル事アリ

千八百四十五年ノ法則ハ此外ニ路旁ノ住民ノ  
任タルニツノ義務ヲ設ケタリ

第一路線修正ニ拘ハル義務水吐キ材木ヲ取換  
ヘ或ハ管繕ノ時ハ土地ヲ假リニ領セシムルノ  
義務木ノ植付ノ為メニ守ル可キ距離及ヒ伐木  
ニ拘ハル処ノ大道ノ通例ノ義務尤所有主ハ並  
木ヲ必ス植ユ可キニハ非ル事知ル可シ

第二別段ノ義務即チ左ノ如シ

二メートルノ距離内ニ塀ノ外一切建設ス可ラ  
サル事

三メートル以上ノ土壘ニ其高サニ等シキ穴ヲ  
許可ナクシテ穿ツ可ラサル事  
二十メートル以内ニ茅屋及燃ヘ易キ物品ノ置  
場ヲ立ツ可ラサル事尤収納時節ノ納屋ハ此例  
ニ非ス  
五メートル以内ニ都テノ物置場ヲ州知事ノ許  
可ナクシテ立ツ可ラス尤耕作ニ必用ナル物品  
ノ置場及ヒ土壘アル場所ハ此例ニ非ス  
但シ州知事ノ許可ハ何時ニモ廢ス可キモノ  
タル事知ル可シ

此禁ヲ犯ス時ハ十六フランクヨリ三百フラン  
ク迄ノ罰金ヲ命スルナリ  
鉄道建築ノ時ニ當リ上ニ記シタル域内ニ設ケ  
アル建築樹木穴茅屋燃ヘ易キ物品ノ積聚或ハ  
其他ノモノヲ除キ去ルヲ公ケノ安全或ハ鉄道  
ノ保護ノ為メニ要スル時ハ官署ニ於テ相当ノ  
償金ヲ與ヘ以テ之ヲ除キ得可シ  
建築ヲ除キ去ル時ハ其償金ハ此ノ如クニ定ム  
其他ノ物ノ償金ハ州知事評議所ニテ定ム

大道事件ノ聽訟



州知事評議所ノ聽訟事務ノ職ヲ説ク時ニ既ニ  
大道ノ事件ニ付キ其適スル事ヲ説キタリ今茲  
ニ又州知事評議所ニ民事ト刑事ト両十カラ適  
スル事ヲ再ヒ挙ク可シ  
第一大道ヲ侵占シタル時ハ公領ニ屬スル土地  
ヲ返スヲ命スルハ民事至當ノ權ナリ  
第二大道ノ違戾ニ舊規則ニテ命シタル罰ヲ當  
ルハ刑事至當ノ權ナリ  
他事ハ州知事評議所ノ聽訟事務職ノ章ヲ參考  
ス可シ

### 小道

小道ノ内ニ含蓄スルモノ左ノ如シ  
第一都會村落ノ内部ノ道路尤官道ノ路線ニ連  
ル道路ト巴里ノ市街ノ道路トヲ除ク此都會村  
落ノ道路ヲ名ケテ都會道路ト云フ  
第二田野ノ用トナリ都會村落ノ外部ノ道路即  
千鄙郷道路及ヒ野徑ナリ之ヲ名ケテ郊外道路  
ト云フ  
茲ニ小道ニ屬スル諸道路ノ新開及ヒ管轄ニ拘  
ハル規則ヲ説ク可シ

都會道路

安寧及ヒ取締ニ拘ハル所ノ市街除地港路ノ如キ往來ヲ開クニ官署ノ許可ナクシテ土地ノ所有主自ラ開ク可ラサルハ衆論ナリ  
往來ヲ開クハ地方ノ官署ニテ企テ路線修正ノ圖面ヲ確定スルノ任アル官署ニテ認定スルヲ要ス若シ公用ノ買上ヲ為スヲ要スル時ハ千八百四十一年五月三日ノ法則ニ從ヒ行フ可シ  
市街及ヒ除地ハ地面ヲ買取ルモ其管轄モ三十里ノ任ナリ

新道ヲ開ク為メ里ニ於テ任スル所ノ費ノ中ニ点燈舗石及ヒ人行道ノ費ヲ含ム然レモ里ノ通例ノ歳入不充分ナルカ又ハ所有主ニテ舗石ヲ舗クノ先例アルカナレバ舗石ハ所有主ニテ設ク可シ

人行道ノ建設ニ拘ハリテハ路旁ノ所有主ハ先例アルヲ以テ其費ノ全額或ハ部分ヲ給シ或ハ州知事ノ許可シタル里會ノ評決アルヲ以テ費ノ最上額ノ半高ヲ給スルヲ要ス  
所有主ニ割付タル入費ノ受取方ハ直税ト同様

十リ

道路ヲ廢棄スル時モ亦官署ノ許可ヲ要ス廢棄ノ時ニ當リテハ路旁住人ノ推利ハ如何ナルカノ論アリ之ニ付キ國議院ノ裁決ハ州知事評議所ニテ定メタル償金ヲ受ルノ權ヲ所有主ニ許スノミ

郊外道路

郊外道路ノ中ニハ既ニ説ク如ク鄙郷道路及ヒ野徑ヲ含ム

鄙郷道路

鄙郷道路ハ官署ノ文書ヲ以テ里ノ往來ニ必要ナル事ヲ認定シタル道路ナリ

鄙郷道路ノ路線ニ連ル市街ノ道路ハ又鄙郷道路ノ部中ニ入ル

鄙郷道路ニ付キテ現今行フ所ノ法則ハ千八百三十六年五月廿一日ノ法則ニシテ其以前ノ法律ノ之ニ及スル所ノ个條ヲ廢棄シタリ

鄙郷道路ヲ三級ニ分ツ即チ大中小ノ三級ナリ大鄙郷路ハ數里或ハ數邑ヲ貫通ス

中鄙郷路ハ大鄙郷路ニ及ハスシテ數里ヲ貫通

大藏省

ス  
小鄙郷路ハ二ツノ里ノ往来トナリ村落ヲ貫通  
セス里ノ間門ニ止マルモノナリ

鄙郷道路ノ建設保護管轄

鄙郷道路ノ費ハ元来里ノ任ナリ依テ里ノ通常  
ノ資本金ノ不充分ナル時ハ左ノ方法ヲ以テ之  
ヲ補フ

第一四直税ヨリ取立テ及ヒ其最上額ハ五分ト  
定メアル格段ノ加税

但シ此加税ハ里ノ独権ニテ直ニ起ス事アリ

千八百六十七年七月廿四日ノ法則ヲ以テ小鄙  
郷路ノ用ノ為メニ三分ノ非常加税ヲ投票スル  
事ヲ里會ニ許セリ

第二最上額ハ作業賃三日分ト定メアル物品ノ  
貢納

千八百三十六年五月廿一日ノ法則ノ三个條ニ  
從ヒ所有主差配人小作人永年期ノ引請人ノ名  
ヲ以テ直税簿冊ニ載セアル一家ノ戸主タル住  
人ハ作業賃三日分ノ貢納ヲ年々為ス可シ其貢  
納ヲ要スル品物ハ左ノ如シ

第一已レノ身分ノ為メ及ヒ一家ノ召仕或ハ親族ニシテ十八歳ヨリ六十歳迄ノ満足ナル里民ノ為メニ納ム

第二鋤牛馬ニ駕スル車一家ノ用ニ用ヒタル駄行駄牽行駄鞍ニ服スル駄ノ一箇毎ニ納ム

三日分ノ作業賃ハ人毎ニ及ヒ貢納ス可キ物品毎ニ納ム可キカ故ニ其稅本ハ人ト物品トナリ貢納ハ貢納スル本人ノ好ニ任セ物品ヲ以テ納ムル事アリ

作業賃一日分ノ價ハ郡會ノ企テニ從ヒ州會ニ

テ定ム品納ト金納トニ撰ミハ里中ニ簿冊ヲ布令シタル日ヨリ一个月間ニ報告スルヲ要ス若報告ヲ怠レハ金ヲ以テ納メシム

里會ニ於テ前以テ定メタル作業賃錢ニ從テ貢納ヲ力役ニ換ヘ納メ得可シ

此ノ如クシテ備ヘタル郡郷道路ノ資本ヲ又左ノ方法ヲ以テ加増シ得可シ

第一州會ノ許可ヲ得テ州ノ助成金ヲ仰ク事

第二郡郷道路ヲ非常ニ破壊セシムル製造者ヲレテ別段ニ金ヲ納メシム

第三国ノ助成ヲ仰ク事

鄙郷道路ノ三級ノ差異

鄙郷道路ノ三級ノ差異ハ左ノ如シ

第一大鄙郷路及ヒ中鄙郷路タル事ノ布令ハ州會ニ付キテ出シタル千八百六十六年七月十八日ノ法律以來州會ニテ之ヲ為ス小鄙郷路ノ布令ハ州知事之ヲ為ス

千八百六十六年七月十八日ノ法律ノ一个條第七款ニ從ヒ左ノ件々ヲ州會ニテ決定ス  
大鄙郷路ノ配級及ヒ方向

中鄙郷路ノ指示シ

郡會及ヒ里會ノ意見ヲ聞キ兩鄙郷路ノ設立及保護ノ為メニ出金スベキ里ノ指示シ

兩鄙郷路ノ路線他州ニ及ハサル時ハ其除級ニ付テハ州會ニテ決定ス

小鄙郷路ニ付テハ其配級及除級共州知事ノ決定書ヲ以テ足レリトス

第二大鄙郷路ハ常ニ州ノ助成ヲ受ケ得可シ中鄙郷路及小鄙郷路ハ格段ノ情實アルニ非サレハ助成ヲ受クルヲ得ス

千八百六十六年ノ法律以來州ノ利益トナル大  
鄙郷路及中鄙郷路ノ為メニハ其助成金ノ授與  
ヲ州會ニ於テ為ス

第三大鄙郷路ノ路線修正ハ州知事ニ於テ命シ  
或ハ兼テ定メアル路線ノ圖面アルモノハ郡知  
事之ヲ命ス中鄙郷路及小鄙郷路ノ路線ヲ正ス  
ハ郡知事ノ許可ヲ得テ里長之ヲ命ス

第四里會ニ付テ出シタル千八百六十七年七月  
廿四日ノ法律ヲ以テ格段ニ小鄙郷路ニ用ル為  
メニ三サニテ一ムノ加稅ヲ投票スルヲ里會ニ

許セリ

千八百六十八年七月十一日ノ法律ヲ以テ中鄙  
郷路及ヒ小鄙郷路ノ為メニ助成ヲ國ニ仰ク事  
アリ

鄙郷道路ノ三級共同様ナル規則

前ニ説ク如ク鄙郷道路ノ差異アリト雖モ其規  
則ハ皆同一ナリ即チ左ノ如シ

鄙郷道路ハ皆里ノ公有ノ部分ニシテ弄捐ヲ受  
ク可ラス

鄙郷道路ハ元來里ノ任ナリ若シ里ノ通常ノ入

金不充分ナル時ハ物品貢納或ハ別段ノ加税ヲ  
以テ其保護ニ給ス  
鄙郷道路ノ設立及ヒ保護ノ為メニ土地ヲ買上  
或ハ州知事ノ許可ヲ受ケ土地或ハ物品ヲ損害  
シ得ベシ尤ニ今年ノ期限内ニ償金ヲ求メ得ベ  
シ此償金ハ命價ノ上申ニ從ヒ州知事評議所ニ  
テ定ム命價人一人ハ郡知事之ヲ命シ一人ハ所  
有主之ヲ命ス若シ双方ノ命價不一致ナル時ハ  
中裁命價人ヲ州知事評議所ニテ命スルナリ  
路線修正設立ノ許可及ヒ水ヲ決シ並木ヲ植ル

事ニ拘ハル規則ハ都々州知事ノ任ナリ  
鄙郷道路ニ拘リタル違反ハ治安裁判役ニ適シ  
警視ノ罰ヲ當リ然ルニ若シ木ヲ植ヘ或ハ他ノ  
仕方ヲ以テ鄙郷道路ニ侵占シタル時ニ其侵ス  
所ノ土地ヲ返スヲ命スルハ州知事評議所ニ適  
ス如何トナレハ民事ハ評議所ニ任スレバナリ  
鄙郷道路ノ事件ニ付キ州知事ノ決定書  
書ヲ二種ニ分ツ  
第一鄙郷道路ノ道幅ヲ許可シ或ハ認定スル為



ノニ出ス決定書

第二鄙郷道路ノ新開或ハ改造ヲ許可スル決定書

第一ノ決定書ハ既ニ設ケアル道ノ為メニ作ル  
第二ノ決定書ハ道路ヲ全ク造ルカ或ハ部分ヲ  
造ルカノ為メニ作ル此二種ハ甚差異アリ  
第一ノ決定書ハ其書中ニ定メアル域中ニ含ム  
土地ハ直キニ道路ノ地ニ属シ路旁ノ所有主ノ  
権ハ消滅シ和談或ハ命價ノ上申ニ從ヒ治安裁  
判役ニテ定メタル償金ニ換ルナリ命價人ハ一

人ハ郡知事之ヲ命シ一人ハ所有主之ヲ命ス若  
シ不一致ナル時ハ中裁ノ命價人ヲ州知事評議  
所ニテ命ス

此ノ如クシテ路旁ノ住民ハ公用買上ノ式モ亦  
償金ヲ前納スルノ式モナクシテ所有ノ権ヲ失  
フ然ルニ法則中ニ用ヒタル土地ト云フ字義ハ  
純粹ノ土地ノミヲ指シ建築ヲ含ム可ラス  
所有ノ権ノ里ノ公有ニ歸スル時ハ治安裁判役  
ノ目前ニ訴訟スルハ妨ケナシ然ルニ此訴ハ唯  
何人ノ所有タリシカヲ定メシメ及ヒ償金ヲ拂

ノ時ニ當リ民事裁判所ニテ所有ノ權ノ爭論アル時ハ所有ノ權ノ何者ニ歸スルノ確証ヲ定メシムル為メノミナリ

第二ノ決定書ハ別段ノ公用買上ヲ誘フモノナリ別段ノ公用買上ハ通例ノ公用買上ト違フ所少ナカラス

第一通例ノ公用買上ヲ為スハ公用タル事ヲ布令シ工業ヲ許可スル為メニ國議院ニ於テ作ル帝ノ制詔ヲ以テス鄙郷道路ノ新開改造ノ為メニハ州知事ノ決定書ヲ以テス

第二通例ノ公用買上ケテ違スル所ノ民事裁判所ハ其負ノ中一人ヲ取リテジリノ長トナス鄙郷道路ノ為メニハ其負ノ中一人或ハ治安裁判役ヲ取リテジリノ長ト為ス就中治安裁判役ヲ取ル事最モ多シ

第三通例ノ公用買上ノジリハ十二人ナリ鄙郷道路ノジリハ單ニ四人ナリ公用買上ノ組ノ名簿ハ十六人ト四人ノ準備ヲ以テ之ヲ作ル此名簿ハ州ノ首市ノ裁判所ニ於テ作り官署及ヒ買上ヲ受ル者ヨリ各二人ツ

ノ省キヲ為ス鄙郷道路ノジリノ名簿ハ現任ノ  
者四人準備三人ニシテ其名簿ハ郡ノ裁判所ニ  
テ作ル而シテ官署ト買上ヲ受タルモノトヨリ  
一人ツ、ノ省キヲ為ス  
第四通例ノ公用買上ノ為メニジリノ同意ノ  
数匹敵スル時ハ其首坐ノ共スル方ヲ取ル鄙郷  
道路ノ為メニジリノ同意匹敵スル時ハジリ  
ノ長ノ共スル方ヲ取ル  
鄙郷道路ノ方向ヲ換へ或ハ線ヲ廢棄ニタル時  
ハ路旁ノ住民ハ他人ニ先立テ買受ルノ權ヲ有

ス路旁ノ住民ノ納ムベキ代價ハ命價人ヲシテ  
定メシム命價人一人ハ郡知事之ヲ命シ一人ハ  
路旁住民之ヲ命シ若シ不一致ナル時中裁ノ命  
價人ハ州知事評議所之ヲ命ス

野徑

野徑ヲ鄙郷道路ノ中ニ登級スルハ決定書ノ本  
旨ニアラス如何トナレハ野徑ト鄙郷道路トハ  
甚差異アレハナリ其差異左ノ如シ  
第一樹木ヲ植ルカ或ハ其他ノ仕方ヲ以テ鄙郷  
道路ヲ侵占シタル時ハ第十三年風月九日ノ法

大 痛 省  
= 後ニ州知事評議所ニテ此事件ヲ知ルナリ尤  
大道ノ事件ト違ヒ刑事ハ適ヒサル事知ルベシ  
野徑ノ侵口ハ民事裁判所ニ適ス

第二鄙郷道路ハ里ノ任ニシテ其保護ノ費ニ給  
スルニ里ノ通常ノ歳入ヲ以テシ若シ其不充分  
ナル時ハ物品貢納及格段ノ加税ヲ以テス野徑  
ノ費ハ物品貢納モ別段ノ加税モ兩十カラ之ヲ  
用ユルナシ

第三鄙郷道路ハ里ノ公有ノ一部分ニシテ弃捐  
ス可ラス野徑ハ里ノ私有ノ部分ニシテ弃捐ヲ

受クベシ

刑法ノ四百七十九个条ニ往来ノ損害ヲナシタ  
ルモノニ警視ノ罰ヲ言渡スニ區別ナシト雖モ  
右ニ記ス所ノ區別ハ判然立テサル可ラス  
第四鄙郷道路ノ配級ノ決定書ハ償金ヲ以テ所  
有ノ権ヲ里ニ歸シ格段ノ公用買上ヲ為スア  
リ野徑ノ配級ノ州知事ノ決定書ハ鄙郷道路ノ  
如ク此ノ推ナシ  
第五鄙郷道路ノ路線修正ノ規則ハ野徑ニ當ツ  
可ラス

路線修正

路線修正ハ経界ヲ立テ往来ト路旁ノ所有物ト  
ヲ分別アルノ線ヲ定ムルヲ云フ

路線修正ハ通例ノ経界定メト異ナル所ニツア  
リ

第一路線修正ハ政令官署ニ於テ之通例ノ経界  
定メハ和談ヲ以テ整ハサレ時ハ司法ノ官署ニ  
於テス

第二路線修正ハ往来ヲ廣メ或ハ正ス事ヲ官署  
ニ許シアルカ故ニ所有ノ推ヲ買取ル事ヲ言渡

スノ推アルモノナリ通例ノ経界正シハ司法ノ  
官署ニ於テ唯双方ノ文書及ヒ推利ニ從テ定ム  
ルカ故ニ裁判役ハ経界ヲ判然タラシメシカ為  
メニ一人ノ所有ノ推ヲ他人ニ移ス等ノ如キ隨  
意ノ趣置ヲ為シ得可ラス

往来ト私有物ト経界ヲ定ムルニ一般ノ路線修  
正ヲ以テスル事アリ又一箇ノ路線修正ヲ以テ  
スルナリ

一般ノ路線修正ハ都テノ往來ヲ含蓄シ一般ノ  
画面ヲ以テ路ヲ定ムルナリ

一箇ノ路線修正ハ建築セント欲スルカ或ハ樹  
木ヲ植ント欲スルカ又掘ヲ立ント欲スルカノ  
人ニ從來ト其所有物トノ經界ヲ官署ヨリ文書  
ヲ以テ指示スニアリ

但シ一般ノ畠面アル時ト雖モ所有主ヨリ官  
署ニ路線ノ修正ヲ求ムルヲ要ス

路線修正ヲ命スル官署

大道ニ拘ハリテノ一箇ノ路線修正ハ国議院ニ  
於テ作ル帝ノ制誥ヲ以テ許可シタル一般ノ固  
面ニ從テ州知事之ヲ命ス若シ一般ノ固面アラ

サレ時ハ舊規則或ハ舊例ニ從テ經界ヲ命ス然  
レモ國街道州街道及大鄙郷路ノ路線修正ハ其  
固面アル時ハ郡知事ノ命スル事ヲ千八百六十  
四年五月四日ノ法則ヲ以テ定メタリ

市街道路ノ一箇ノ路線修正ハ一般ノ固面ニ從  
テ里長之ヲ命ス

一般ノ固面ハ千八百七年九月十六日ノ法ニ從  
ヘハ國議院ニ於テ定メタリ然レモ千八百五十  
二年三月廿五日ノ制誥以來ハ州知事之レヲ定

ム

一般ノ固面アラサル時ハ里長ハ其土地ノ現ノ  
有様ニ從テ路線修正ヲ為ス故ニ所有主ヲシテ  
其土地ヲ退ケシムルモ亦迂曲ヲ直フスルモ皆  
行可ラス  
鄙郷道路ニ拘ハリテハ大鄙郷路ト中小鄙郷路  
トヲ區別スルヲ要ス中小鄙郷路ハ一箇ノ路線  
修正ヲ命スルハ里長ナリ大鄙郷路ノ路線修正  
ヲ命スルハ以前ハ州知事ナリシカ千八百四年  
五月四日法律以來一般ノ固面アルモノハ郡知  
事之ヲ命ス

一般ノ固面ハ一箇ノ路線修正ノ基本トナルモ  
ノニシテ州知事ノ定ムル所ノモノナリ尤大甲  
鄙郷路ノ為メニハ州知事評議所ノ許可ヲ要ス  
一般ノ固面アラサレハ一箇ノ路線修正ヲ命ス  
ルノ任アル官署ハ場所ノ有様ニ從テ定ムル事  
市街道路及ヒ大道ト異ナル事ナシ  
路線修正ヨリ生スル事件  
既ニ説ク如ク路線修正ハ往来ト私有品トヲ分  
別スルノ経界ヲ定ムルノニ非ス公用ノ為メ  
ニ義務及ヒ買上ヲ来スナリ

路線修正ヨリ生スル義務

路線修正ヨリ生スル義務ハ路旁ノ住民ノ受ク  
ベキ條ニシテ其義務ニツアリ

第一往還ニ列シテ建築スルカ樹木ヲ植ルカ堀  
ヲ立ルカヲ欲スル住民ハ前以テ官署ノ許可ヲ  
受クルノ義務アリ假令路線修正ノ一般ノ図面  
アル時ト雖モ許可ヲ受ルノ義務ハ欲クベカラ  
ス

第二路線修正ヨリシテ退クベキ外面ニ永保ノ  
管繕ヲ加フ可ラズ永保ノ管繕ニ非サル修補ハ

官署ノ許可ヲ受クルヲ要ス

路線修正ヨリ生スル公用買上及他ニ先立  
テ買受ルノ權

路線修正ノ一般ノ図面ヲ以テ所有主ヲシテ建  
築ヲ進退セシメ或ハ其土地ヲ賣買セシム譬ハ  
ハ路旁ノ所有品往来ノ経界ニ侵占スル時或ハ  
所有物ノ路線ヨリ隔リタル時ヲ云フ

若シ所有物ノ往来ニ侵占スル時ハ侵占シタル  
部分ヲ償金ヲ給シテ直チニ公領ト為ス若シ退  
クベキ所有品ノ家屋ナル時ハ其所有主ハ外面



ニ永保ノ營繕ヲ加ヘ得可ラサルカ故ニ其家屋  
ノ頽廢スルニ或ハ之ヲ破却スルカナレハ直チ  
ニ其地ハ公有ニ歸ス而シテ償金ハ家屋ノ頽廢  
或ハ破却ヨリ生スル損害ノ為メニ與フル事ナ  
ク唯土地ノ價ノ償金ヲ與フルノミ  
若シ路旁ノ所有物ノ路線ヨリ隔リ居ル時ハ所  
有主ハ他人ニ先立チテ其所有地ト路線ノ間ニ  
アル土地ヲ買受ルノ權アリ  
市街道路ニ拘ハリ若シ路旁ノ所有主此權ヲ行  
フヲ欲セサル時ハ千八百七十九年九月十六日ノ法

律ノ五十三箇条ニ從ヒ償金ヲ以テ其所有主ノ  
有スル所ノ全キ所有物ヲ買取ルノ權ヲ官署ニ  
許セリ償金ハ工業ヲ起サ、ル以前ノ價ヲ以テ  
定ム  
大道及市街道路ノ公用買上或ハ他ニ先立チ買  
受ルノ權ヲ行フ時ノ償金ハ通例ノジユリニテ  
定ム鄙郷道路ノ為メニハ命價ノ上申ニ從ヒ治  
安裁判役ニテ定ム  
大道ノ事件ニ付キ路線修正ヨリ生スル義務及  
ヒ公用買上ハ千七百六十五年二月廿七日付ノ

王ノ評議所ノ決定ヨリ来ル所ナリ市街道路ノ  
事件ニ付テハ義務及ヒ公用買上ハ千八百七年  
九月十六日ノ法律ニ載ス鄙郷道路ノ事件ニ付  
テハ義務及ヒ公用買上ハ千八百三十六年五月  
廿一日ノ法則ヲ以テ許可シタリ  
千八百七年ノ法律ヲ以テ市街道路ノ為メニ設  
ケタル他ニ先キテ買受ル推テ千八百四十二年  
ノ法律ヲ以テ大道ノ為メニ設ケ千八百三十六  
年ノ法律ヲ以テ鄙郷道路ノ為メニ設ケタリ千  
八百四十一年五月三日ノ法律ヲ以テ公用買上

ニ當リタル土地ノ其用ニ當ラサル時ハ又他ニ  
先立チ買受ル事ヲ一般ニ許セリ

路線修正ニ拘ハル聴訟事務

路線修正ニ拘ル法律及規則ヲ平人ノ守ラサル  
事アル時ハ官署ヨリ督責スル如ク平人ヨリモ  
亦其決定書或ハ道路ノ許可ニ付キ訴出ル事ア  
リ  
若シ平人巴レノ利益ヲ損害サレタル時ハ其害  
スル所ノ處置ヲ直フスル為メニ上司ニ恩命ヲ  
求メ得ベシ

路線修正ノ命令一般ノ固面ニ後ハス平人ノ推  
利ヲ害スル時ハ聽訟事務ノ手續ヲ以テ告訴シ  
得ベシ亦國議院ニ上告スルヲモ許セリ然レモ  
市街道路ノ事件ニ付キ里長ノ決定書ニ對シテ  
上告スルニハ國議院ニ政令ノ手續キヲ以テ上  
告ス可キ事ヲ千八百七七年九月十六日ノ法律ノ  
五十二个条ニ定メタリ上告ヲ國議院ニ於テ裁  
決スルニハ内務長官ノ上申ヲ要ス  
正シク命ミタル路線修正ヨリ生スル事件ニ拘  
リテノ平人ノ訴訟ハ償金ヲ請求スルニアリ

所有ノ權ヲ奪フタル時ノ償金ハ既ニ説キタル  
如ク大道及市街道路ノ事件ナレハ公用買上ノ  
ジエリニテ定メ鄙郷道路ノ事件ナレハ命價ノ  
上申ヲ受ケ治安裁判役ニテ定ム  
路線修正ニ拘ハル法律及ヒ規則ヲ守ラサルハ  
即チ違辰ニシテ之ヲ懲戒スルニハ罰ヲ以テス  
大道ノ事件ニ付テハ路線修正ヲ願出ルヲナク  
建築シタルカ或ハ許可ヲ得スシテ永保ノ營繕  
或ハ一時ノ修補ヲ為シタルカノ平民ニ對シテ  
七百六十五年ノ王ノ評議所ノ決定書ヲ以テ定

ノタル三百フランクノ罰金ヲ州知事評議所ニ  
於テ言渡シ又往還ニ侵占スル建築或ハ除去ス  
ベキ外面ニ施シタル永保ノ管繕ヲ破壊スル事  
ヲ命ス可シ是ヲ以テ州知事評議所ハ大道事件  
ニ付キラハ民事刑事ノ兩權ヲ兼有ス

鄙郷道路ニ付キラハ州知事評議所ハ其道路ニ  
侵占シタル土地ヲ返スヲ命シ又侵占シタル物  
ヲ毀テ棄ルヲ命ス此權ハ樹木ヲ植ルヲ以テ往  
來ニ侵占シタルヲ規定シタル第十三年風月九  
日ノ法律文面ノ汎及スルモノナリ鄙郷道路ノ

違反ニ警視ノ罰金ヲ命スルハ警視裁判所ニ於  
テシ鄙郷道路ニ付テハ州知事評議所ニ於テハ  
常ニ懲戒ノ罰ヲ言渡事ナク民事ノ權ヲ有スル  
ノミ

市街道路ニ付テハ警視裁判所ハ刑法ノ四百七  
十一个条第五款ニ載セタル一フランクヨリ五  
フランク迄ノ罰金ヲ言渡スノ權アルハ勿論基  
礎ノ堅カラサルモノヲ毀テ棄ルヲ命スルノ權  
ヲ有ス  
往來ノ上ニ侵占スルモノ建築ナル時ハ之ヲ毀

ツヲ命スベシト雖トモ退ク可キ外面ニ許可ヲ  
得スシテ施シタル管轄ヲモ毀ツヲ命ス可キヤ  
否  
永保ノ管轄モ一時ノ修輔モ區別セス都テノ管  
轄ヲ毀ツヲ警視裁判所ニ於テ命ス可シト駁議  
裁判所ニ於テ定ソリ是大道ノ事件ニ付キ國議  
院ノ為シタル裁判ヨリ一層嚴ナルモノナリ

### 道路ノ畧説

道路ハ大道ト小道トヲ分チ大道ハ國街道州街  
道巴里ノ市街道路鉄道ヲ含ム小道ハ市街道路

及ヒ郊外道路ヲ含ム

大道小道ヲ區別シテ生スル所ノ利益左ノ如シ  
第一推ノ適不適及ヒ罰

大道事件ニ付テハ州知事評議所ハ民事刑事ノ  
兩權ヲ兼テ土地ノ侵占ヲ検査シ舊規則ヲ以テ  
定メタル罰ヲ言渡シテ違戾ヲ懲戒ス

小道事件ニ付キ其鄙郷道路ニ拘リテハ州知事  
評議所ハ土地ノ侵占ノ返シヲ命シ民事ノ權ヲ  
有ス違戾ヲ懲戒スルノ罰ハ警視裁判所ニ於テ  
命ス市街道路及野徑ニ拘リテハ侵占シタル土

地ノ返シヲ命スルハ市街道路ナレハ里長ニ於  
テミ墊徑ナレハ民事裁判所ニ於テス違戻ヲ懲  
戒スルニハ都テ刑法ノ四百七十九个条十一款  
ニ載セタル十一フランクヨリ十五フランク迄  
ノ罰ヲ警視裁判所ニ於テ命ス

第二新開及ヒ保護

大道ニ属スル往来ノ新開及ヒ市街道路ノ新開  
ハ國議院ニ於テ作ル帝ノ制誥ヲ以テシ公用買  
上ハ通例ノ公用買上ノ規則ヲ用ユ鄙郷道路ノ  
新開及ヒ改正ハ州知事ノ決定書ヲ以テ命シ公

用買上ハ拾段ノ公用買上ヲ用ユ

国街道ノ保護ハ國ノ任ナリ州街道ノ保護ハ州  
ノ任ナリ鄙郷道路及ヒ野徑ノ保護ハ關係アル  
里ノ任ナリ

第三路線修正ヲ命スル官署

大道及大鄙郷路ノ為メニハ州知事或ハ郡知事  
ニテ路線修正ヲ命ス市街道路及ヒ中小鄙郷路  
ノ為メニ一箇ノ路線修正ヲ命スルハ里長ノ任  
ナリ

第四路旁住民ニ命スル義務

大道ノ義務ハ法律ノ文言ヲ以テ一定ノ制限ヲ  
立ツ鄙郷道路ノ義務ハ州知事ノ規定ニ任ス

大  
道  
省

大  
道  
省

